

## 水稻『いもち病』の発生にご注意ください！

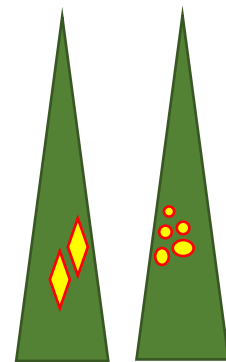
令和3年7月27日現在、茨木市内山間部を中心にいもち病が多発しており、今後も拡大する恐れがあります。

### 【いもち病の症状】

初期症状としては葉にひし形もしくは小さな丸型の赤茶色の斑点ができます。

症状が進行すると枯れながら稲がすくんで小さくなっていくこともあります。（ずりこみ症状）

また穂や穂首にも感染し白穂の原因になり収穫量にも大きく影響することもあります。



いもち病の病斑イメージ

### 【発生の可能性が高い場所】

1. 茨木市内中山間部（国道171号線以北）
2. 山すそなど影が多い場所
3. 風とおしの悪い場所
4. 肥料がよく効いている場所

### 【防除薬剤】

- ・ブラシン粉剤DL…使用時期：収穫7日前まで
  - ・コラトップ粒剤5…（葉いもち）初発10日前～初発時  
（穂いもち）出穂30日前～5日前まで
  - ・オリブライト250G(豆つぶ)…出穂10日前まで、ただし収穫45日前まで
- ※粒剤、豆つぶ剤については予防的に使用することをお勧めします。  
既に発生している場合には粉剤を使用してください。



初期症状  
葉に病斑ができる



症状が進行  
病斑が大きくなり枯れる